

夫大將たる人の智に勇一も乏けては國を治む事難
しにこそもの事をまひ斗ふも婦人のにまゝて大將の
にあらざるものなりとて法を斗はば丈夫の勇よりて大將の勇
よりるべに勇を其に知を加ふときは則にうて威あり勇
よりて和あり之と持つ大將のみに依り之より育く大將と
必よく勉てた田川郡佐佐木郡宇美郡此三郡を指して
なめと郡とやうに三郡の諸士れを令して義を運
ぶに我氏の石形の前は鎧馬日夜よりあはれぬと宝
義氏欲深く小身よりれを厚くして下りて其の恩禄をかく

て家事をせし大身より愛を給ひ家事を了す者あり
我つて必飲をなすは或は交を結いて親しくなりて母を
食へて之を失ひ終ふに部の主となりて金銀他國を
奪ひ自國と治め他國より兵を起し年月を経るにても
止む事とせず家臣の衆をたもて妻子を離して他の郷に
日と暮る年と送り士民之を嘆いて悲を訴ふと辭す
然るに夫より別れを親と失ひ孤と失ひ老父を失ふ
武士片端とせしものありて家よりけりて泣くを
ある後くけりて哀を流さんといふ事なり古人の云ふ事